



## ○ 光陰矢の如し

6月が過ぎ、7月に入りました。6月のうちに梅雨が明けるとは想像もしませんでした。夏本番の水不足が心配です。また、一年間トータルの雨量は同じだと考えた時、いずれかで豪雨に見舞われないかという心配もあります。ただ、よいこともあるようです。これまで雨が少なかったために果物などは比較的甘く育ち、品質も良いというニュースもありました。

2025年を迎えるにあたって「西暦2525」という洋楽の話題を紹介したのがつい最近のようですが、今年もう半分過ぎていきました。定期的に見るテレビ番組も「この番組は昨日見なかったっけ？」ということも毎回です。ただ、このような感覚は歳を重ねたからかもしれません。若いうちは1年間、一か月、一週間、一日、1時間を長く感じていました。

私が卒業式の式辞で必ず述べることがあります。それは「この1年間(2年間)を長く感じましたか？短く感じましたか？」というものです。それに続けて「短く感じている人は充実していたのでしょうか。長く感じた人はたくさんの学びを身に付けたのでしょうか。」と述べます。そういうことなのかもしれません。また、式辞の内容を紹介してしまいました。半年後の本番ではどんな話題にするか悩んでしまうかもしれません。(多分同じことはまた来年も述べるとは思います。)

## ○ 夏本番

に、なってしまいました。これまでのイメージとしては、期末テストが終了してほっとしていたら雷が鳴り響き、終業式を済ませたら「さあ、夏本番！」というものでしたが、今年は一月近く早いんですね。暑さもそうですが日差しの眩しさを避けようと、このたび麦わら帽子を購入してみました。使い始めてからまだ数日しか過ぎていませんが、それなりに気に入っています。そういえば今年、JR西日本山陽新幹線ではONE PIECE車両が走り始めました。既に遭遇し、車両に乗ったことも複数回あります。私はこのマンガを詳しくは読んでいないのですが、“麦わらの一味”というモノがあるようで、この帽子を被って乗り込むことがあったらどんな気分になるのでしょうか？

写真は「せとうちブルー号」



## ○ 自校自賛

「光陰」から夏本番の話題になっていきましたが、ついでに夏のふんいきにふさわしい写真を紹介してみます。通勤時に見ることのできる海の風景(せとうちブルー)とYC校玄関前のアサガオです。

